

「結核・呼吸器感染症予防週間」に関する啓発・掲示

厚生労働省では、毎年9月24日～30日を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定めて、結核と呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。この期間中、公益財団法人結核予防会から周知ポスターやパンフレット等が配布されるとともに、「全国一斉複十字シール運動キャンペーン」として全国各地で街頭募金や無料結核検診、健康相談等を実施して結核・呼吸器感染症予防の大切さの啓発が行われています。

結核の罹患率は、平成11年以降全国的には減少傾向にあります（令和5年：8.1人/10万人）。岐阜県においても平成23年以降減少傾向にありますが、令和5年時点で9.1人/10万人と全国平均よりも高い水準が続いています。年齢別罹患率では、75歳以上の世代に加え20～30歳代においても高い状態であり、結核は決して昔の病気ではないことを示しています。結核に対する正しい知識を身につけ、結核を予防しましょう。

岐阜県保健環境研究所では、9月に1階エントランスホールにおいて結核・呼吸器感染症予防週間のポスターとともに岐阜県の結核の現状と当所で実施している検査内容について展示しています。